

意見交換会実施報告書

開催日時	平成26年11月11日 午後6時30分～午後8時00分
開催場所	八坂支所
出席議員	二條 孝夫（責任者、報告者） 岡 秀子（司会） 太田 昭司（記録者） 神社 正幸（報告者） 平林 英市（受付） 竹村 武人（受付）
参加市民数	21人
議会報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度決算の概要について ・議会における事務事業評価について
意見交換内容 (要望提言等)	<p>事務事業評価について</p> <p>○発言1 平成25年度分が、平成26年が半分終わってから出てくる。PDCAサイクルをもっと早く回転できるようにしてほしい。</p> <p>★回答1 その通りである。前年度のものを評価し、それが反映されるのが、今年ではなく次の年となってしまふ。議会でも予算に反映されるよう検証していく。</p> <p>過疎債・合併特例債について</p> <p>○発言2 平成26年度は過疎債と合併特例債をどれくらい、どの事業に使っているのか。</p> <p>★回答2 過疎債については、期限が平成33年まで延長となった。平成18年に3億円程の過疎債を使っている。後は平均3,600万円ずつ使っている。今回からはソフト事業にも過疎債を使えるようになった。合併特例債については、起債可能上限額約90億円のうち、残り40億円となっている。しかしこれは起債するので借金ということになる。当面は、ごみ焼却施設による負担金として、またあすなろ保育園の建て替えにも使う。</p> <p>意見交換会の出席議員について</p> <p>○発言3 八坂のイベントなどには、八坂出身の議員に来賓として出席していただいているが、今日は来ていない。地元の住民の意見は、地元出身の議員に聞いてもらった方が良いのでは。</p> <p>★回答3 全議員18名を3班に分けている。また3つの常任委員会の委員も均等に3班に分けた。地元の議員が必ず地元に出向く可能性は低くなる。確かに地元議員が参加することも大事だが、地元以外の議員がその地域について知ることも大事である。今回は、八</p>

坂の意見交換会に初めて参加する議員が3人いる。また、今後は議員数が16人に減る。全ての地域から議員が出ることが難しくなる。今後は、それぞれの議員があらゆる地域について知っていくことが大事になる。

情報センターについて

○発言4

パソコン講座等、IT 関係事業の予算が3倍くらいになっていると新聞報道で知った。来年は削減すると聞いているが。

★回答4

今年は、ケーブルテレビも含め、パソコン関係等、設備にお金をかけている。詳細については、今ここではっきりとは言えないが、時代の流れで情報発信にも力を入れていかなければいけないと考えている。

○発言5

3年くらい前に、市長に手紙を出し、学校の全ての先生にパソコンくらいは支給してほしいとお願いをし、その後、市長から返答があり期待していたが、3年経ったが、返答どおりになっていない。結局、自分たちで八坂内の先生にはパソコンを支給した。また、八坂では、パソコン教室を20年やっている。冬は年賀状講座などもやっている。地区でやっているのは八坂だけだと思う。八坂から情報センターまではなかなか行けない。来年度は予算を減らすということだが、考慮してほしい。

★回答5

行政側へ伝える。

議会だよりについて

○発言6

昨年の意見交換会でも非常に良い意見がたくさん出ているが、実際に一般質問等で取り上げてくれたのは、臭気問題やごみ焼却施設の問題くらいだ。

★回答6

昨年、美麻では、就労センターが美麻から無くなるのではとの意見や臭気問題、定住促進、松糸道路、あすかの杜、八坂の教育についてなどいろいろな意見が出されたが、これらについてもこの1年間で、多く一般質問で取り上げられた。

○発言7

議会だよりしか見ていないが、議会だよりの一般質問の原稿は、質問した人が書くのか。中には、自分の質問だけ長く書いて、答弁をほとんど書かない人もいる。私たちとしては、質問よりも、答弁をしっかりと書いてほしい。

★回答7

議会だよりの原稿は、質問者自らが書いているが、字数に制限があり全部は載せきれない。従って、自分が主張したいところだ

けを書くことになる。議会としても、市民が読みやすいものを目指していきたい。

議員定数、職員削減について

○発言 8

議員定数が16名に減る。最終的には10名ぐらいまで減ることになるのか。また行政改革というが、人口減少に伴い、市の職員数はどのように変化しているか。パソコンの普及により、仕事の能率も上がってきていると思うが。職員数は減らすべきではないか。

★回答 8

平成18年から25年までの間に、職員数は62人減じた。また水道課と下水道課も統合された。そして議員数も16名に減らす。議員定数は10名まで減らせとの意見もあるが、そこまで減ってしまうと、多くの市民の声を聞き取ることが難しくなる。ある程度の議員数は必要だ。また市の職員について、現在、臨時職員がたくさんいる。マンパワーも必要だ。減らすにしても慎重に減らすべきと考える。

○発言 9

議員数は16名が精一杯ではないか。議員でなければ市民の声を市政に届けることできない。

★回答 9

16名に減らすことに反対する議員もいた。

山村留学、小規模特認校について

○発言 10

小規模特認校が始まるが、美麻はある程度外から生徒が集まると聞くが、八坂は八坂以外からはほとんど生徒が入ってこないと聞く。手っ取り早いのは、山村留学だが、受け入れ態勢が難しい。受け入れ農家が増えれば良いが、農家を支援する補助金も少ない。ぜひ農家確保の為の補助金を増やしてほしい。

★回答 10

先日、立川から八坂の育てる会の視察に来た。現在、山村留學生が28名だが、年々受け入れ農家が減っている。ご意見として承り、行政側へ伝える。

熊について

○発言 11

人的被害が深刻である。安心して暮らせない。大町市内でも熊の出没が多いのだから、率先して熊について研究し、原因を突き止めるべきでは。

★回答 11

特に平地区が多い。原因については、マイマイガの大量発生による影響でドングリが少なくなったからではないかなど色々言われているが、ドングリの減少には周期があると聞く。食べ物が

	<p>なくなると冬眠前の熊は凶暴になり、猿や鹿を食べている熊もいるという。熊の棲息区域がかなり南下しているとも聞く。ご意見として承り、行政側へ伝える。</p> <p>○発言 1 2 すべて殺処分すべき。また処分するにしても県の許可がいる。出没を確認してから許可が下りるまで1週間かかる。このシステムを変えてほしい。</p> <p>★回答 1 2 猟友会出動1回につき1700円の予算が底をついたため、防災特別委員会から市に要請し、行政側も了承している。また、警戒警報が出た時点で、県の許可がなくとも殺処分ができるようになった。市でも勉強会を行った。今後もしっかりとした対策を行うよう市に要請していく。</p> <p>相川下の道路改良について</p> <p>○発言 1 3 一日も早く完成するようお願いしたい。</p> <p>★回答 1 3 行政側へ伝える。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成26年12月25日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 二條 孝夫 ㊟